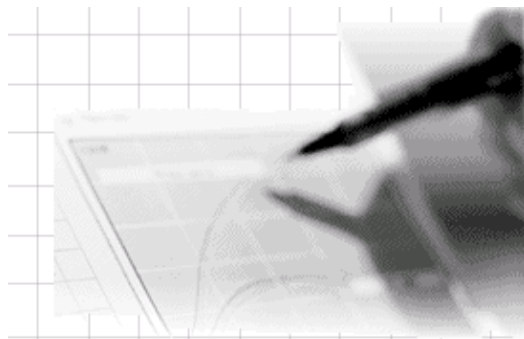


第1回 ファイナンシャル・ウェルビーイング シンポジウム
『ファイナンシャル・ウェルビーイングの発展を考える』

今、なぜ、「ファイナンシャル・ウェルビーイング」が重要なのか？

～ ファイナンシャル・ウェルビーイング分科会の活動を交えて ～



2025年6月11日

ファイナンシャル・ウェルビーイング分科会 座長
三井住友信託銀行 専門理事
井戸 照喜

井戸 照喜

三井住友信託銀行株式会社 専門理事



- 入社後20年間は、企業年金の制度・運用業務等に従事
- 2008年からリテールビジネスに従事。「コア&サテライト運用戦略」を標榜し、ストック収益重視への転換を推進
- 資産形成層への取組み強化を担当。積立投資・生損保・住宅ローン等も含めた「トラストバンカシュアランス戦略」を推進

1989年 東京大学大学院 工学系研究科 修了
1989年 同年 住友信託銀行入社(現三井住友信託銀行)
年金信託部・年金運用部など
(アクチュアリー、運用コンサルティング業務など)
2008年 投資顧問業務部長、投資運用コンサルティング部長など
2017年 執行役員 投資運用コンサルティング部長
2018年 執行役員 トラストバンカシュアランス推進担当
(投資信託、保険、ラップ口座など)
2019年 三井住友トラスト・ライフパートナーズ株式会社 取締役社長
2022年 執行役員 資産形成層(職域)横断領域 等を経て、
2025年～ 現職

(※1) 2002～06年度 早稲田大学大学院商学研究科 講師(非常勤)
2008～18年度 慶応義塾大学理工学部 講師(非常勤)
2022～23年度 老後資産形成に関する継続研究会 研究会委員
(公益財団法人 年金シニアプラン総合研究機構)

2024年度～ 帝塚山大学法学部 講師(非常勤)として、
「金融ウェルビーイング」を担当

2024年度～ ウェルビーイング学会
ファイナンシャル・ウェルビーイング分科会 座長

(※2) 日本証券アナリスト協会検定会員
年金数理人、日本アクチュアリー会正会員

【主な著作】 2018年「銀行ならではの“預り資産ビジネス戦略”— 現場を動かす理論と実践」(金融財政事情研究会)
2023年「安心ミライへの「金融教育」ガイドブックQ&A」(金融財政事情研究会)(共著)
2024年「ファイナンシャル・ライフ・エンジニアリング ～したたかに“楽しむ”！ 洗練された「人生の経営者」を目指して」
(金融財政事情研究会)

目次

1 「ファイナンシャル・ウェルビーイング」を巡る我が国の動向

2 「ウェルビーイング」と「人的資本経営」の関係

～ファイナンシャル・ウェルビーイングの文脈で読み解く～

3 「ウェルビーイング」向上のカギは「お金の健康」と「心身の健康」

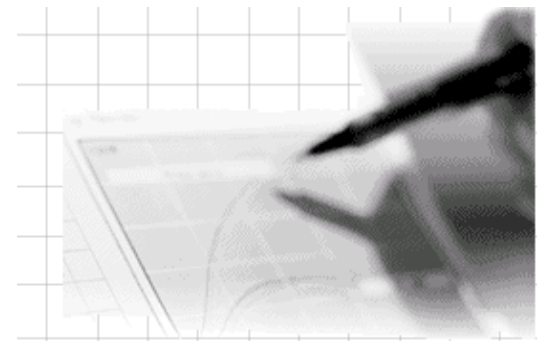
～「FWB×PWB マトリクス・モデル」の分析結果を交えて～

4 今、なぜ、「ファイナンシャル・ウェルビーイング」が重要なのか？

(1) 従業員の視点/個人の視点 (2) 企業の視点

5 最後に ～「ファイナンシャル・ウェルビーイングの発展」のために～

1 「ファイナンシャル・ウェルビーイング」を巡る我が国の動向



「ウェルビーイング(Well-being)」とは？

- 1946年のWHO(世界保健機構)憲法草案の中に「健康」の定義として登場

<Well-being>

「身体的にも、精神的にも、社会的にも
良好な状態」

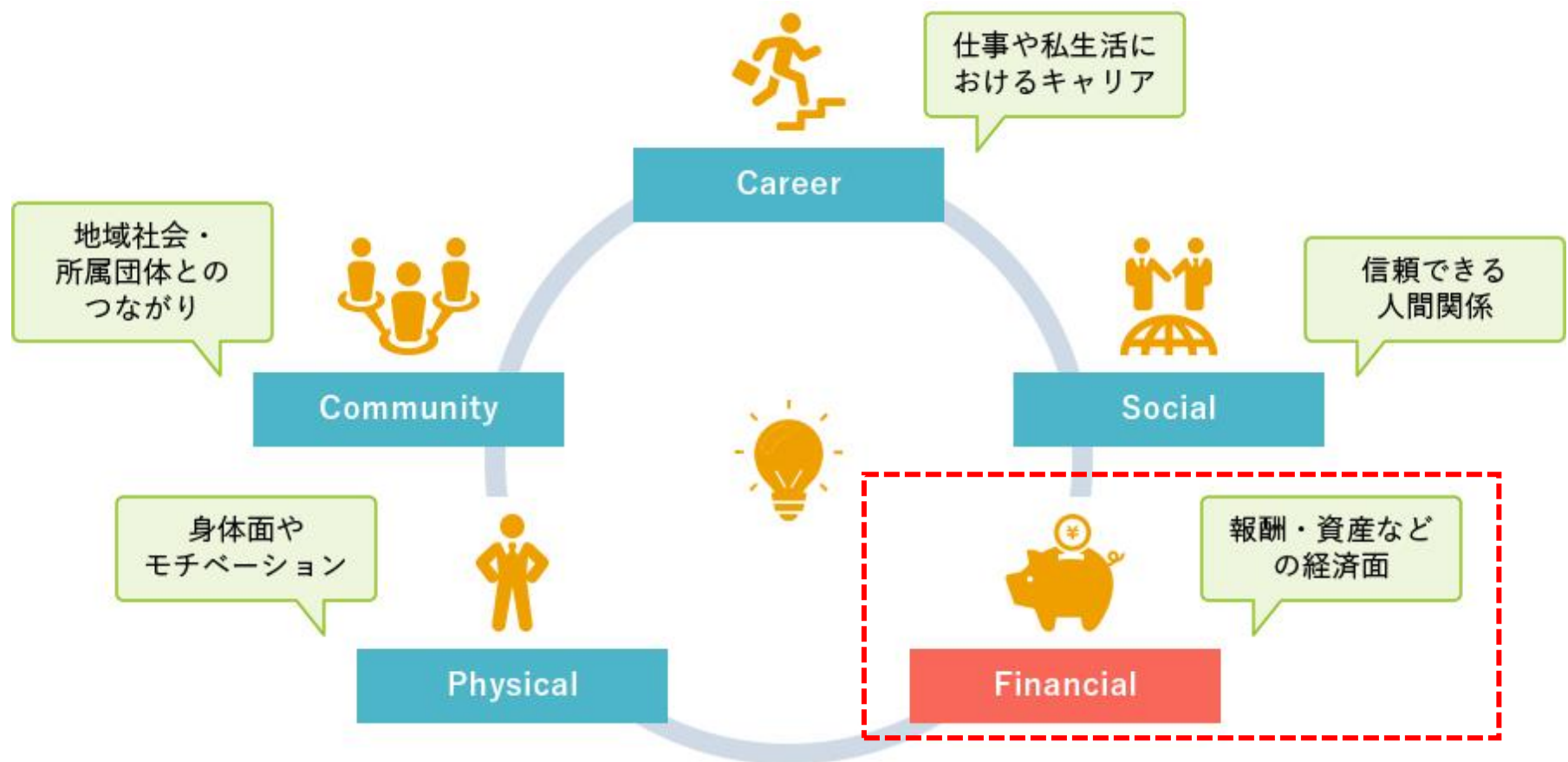


- 2023年10月臨時国会の所信表明演説で、岸田首相が「持続的な賃上げに加えて、人々のやる気、希望、社会の豊かさといったいわゆるWell-beingを高めれば、この令和の時代において再び、日本国民が「明日は今日よりよくなる」と信じていることができるようになる」と初めてWell-beingに言及
- 2024年「骨太方針」で、「(中略)～こうした「賃金と物価の好循環」や「成長と分配の好循環」の拡大・定着を通じて、希望あふれるWell-beingの高い社会の実現を目指す」と明記
- グローバルには、2030年以降に“SWGs(Sustainable Well-being Goals)”が、SDGsの次のグローバルアジェンダの有力候補の1つと見込まれている

ウェルビーイングの構成要素

- 米国調査会社ギャラップ社によると、Well-beingは下図に示されている5つの要素で構成

ウェルビーイングの“5つの要素” ※米国ギャラップ社が提唱



「FWBを巡る我が国の動向」と「FWB分科会の立上げ」（全体像）

「FWB分科会」等の取組み

2023年3月
日本Well-being計画推進特命委員会

2023年10月
ウェルビーイング学会内にFWB準備学
習会を立上げ

2024年3月
日本Well-being計画
推進特命委員会

2024年5月
FWB準備学習会がFWB分科会へ昇格

2024年8月
『FWB入門講座』が開始
(FWB分科会メンバーが中心に執筆)



FWBを巡る我が国の動向

2023年5月
自民党：日本Well-being計画推進特命委
員会。第六次提言にFWBが盛り込まれる。

2023年8月
金融庁：2023事務年度金融行政方針に
FWBが登場

2024年4月
金融経済教育推進機構の発足。
ミッションに「FWB実現」が謳われる。

2024年5月
自民党：日本Well-being計画推進特命委
員会。第七次提言にFWB(WBの文脈での
金融経済教育の強化等)が盛り込まれる。

2023年10月(第212回 臨時国会)
岸田首相の所信表明演説で「ウェルビーイング」
という言葉が登場

2024年6月(骨太方針2024)
「誰もが活躍できるWell-beingが高い社会の
実現」という項目が登場

2024年10月(第214回 臨時国会)
石破首相所信表明演説で官民で総合的な
「幸福度・満足度」の指標を策定・共有するこ
とが盛り込まれる。

金融経済教育推進機構(J-FLEC)

【J-FLECのミッション】

私たちは、一人ひとりが描くファイナン
シャル・ウェルビーイングを実現し、自律
的で持続可能な生活を送ることのでき
る社会づくりに貢献します。

第七次提言

J-FLECが官民一体の組織として新たに
設立されたことを契機として、Well-
beingを支える重要な柱の一つとして
の金融経済教育を国全体で広く推進す
るべきである。その際、J-FLECを中心
に、官民の関係団体でよく連携しながら、
学校教育の支援や、社会人教育の充実・
強化に取り組むべきである。

Point 官民の関係団体との連携

骨太方針2024

「賃金と物価の好循環」や「成長と分配の
好循環」の拡大・定着を通じて、希望あふ
れるWell-beingの高い社会の実現を
目指す。

Point WBの重要性アップ

ウェルビーイング学会 ファイナンシャル・ウェルビーイング分科会

- 本学会は、ウェルビーイングに関する研究結果の公開や学術集会の開催などを通じて、分野横断的なウェルビーイング研究の進化と交流を推進している組織
- 2024年度より、2名の理事をオブザーバーとしながら下記4つの分科会を設置
⇒ 4つの分科会の1つが「ファイナンシャル・ウェルビーイング分科会」

ウェルビーイング学会 と 分科会の組織構成（2025年4月時点）

ウェルビーイング学会 理事会

代表理事

- 前野 隆司氏
武蔵野大学ウェルビーイング学部長/慶応義塾大学 名誉教授

副代表理事

- 鈴木 寛氏
東京大学公共政策大学院 教授/慶応義塾大学政策・メディア研究科 特任教授
- 宮田 裕章氏
慶応義塾大学 医学部医療政策・管理学教室 教授

理事

- 秋山 美紀氏 武蔵野大学ウェルビーイング学部ウェルビーイング学科 教授
- 石川 善樹氏 公益財団法人Well-being for Planet Earth代表理事
- 内田 由紀子氏 京都大学人と社会の未来研究院 教授
- 高野 翔氏 福井県立大学地域経済研究所 准教授
- 高山 緑氏 慶応義塾大学 理工学部 教授
- 保井 俊之氏 叡啓大学ソーシャルシステムデザイン学部 教授/
武蔵野大学ウェルビーイング学部 教授

学会内の分科会（現時点で4テーマ）

ファイナンシャル・ウェルビーイング

- 座長: 井戸(三井住友信託)、副座長: 清永(三井住友信託)
- オブザーバー理事: 鈴木副代表理事、石川理事

学校教育とウェルビーイング

- 座長: 中島氏(亀岡市立東別院小学校)、副座長: 浦谷氏(武蔵野大学ウェルビーイング学部ウェルビーイング学科)
- オブザーバー理事: 鈴木副代表理事、内田理事

ウェルビーイングとテクノロジー

- 座長: 渡辺氏(NTT)、副座長: 堂上氏(博報堂)
- オブザーバー理事: 宮田理事、高野理事

これからのコミュニケーション対話とウェルビーイング

- 座長: 荘野氏(大広)
- オブザーバー理事: 前野代表理事、秋山理事

ウェルビーイング学会 ～ ファイナンシャル・ウェルビーイング準備学習会の立上げ ①

- 2023年10月、ウェルビーイング学会内に「ファイナンシャル・ウェルビーイング準備学習会」を立上げ
- 2024年度より「ファイナンシャル・ウェルビーイング分科会」に昇格

「ファイナンシャル・ウェルビーイング準備学習会」の設置主旨

【概要】国内外でウェルビーイングへの注目度が高まる一方で、我が国においては「資産所得倍増プラン」が打ち出され、「貯蓄から投資」を促進する各種の取組み(金融経済教育の推進など)が加速される流れにあります。また、一足先に学校では、学習指導要領の改訂が行われ、金融教育の内容充実が図られています。これまでの「経済一辺倒」から「ウェルビーイング(幸福度)」を重視する社会への転換期において、これらの流れは一見矛盾する方向性のようには思えますが、ウェルビーイングを実現するためには、心身の健康(Physical Well-being)だけではなく、様々な面で満たされた状態であることが重要ともいわれています。

例えば、米国ギャラップ社は、「(心身の)健康」「キャリア」「コミュニティ」「ソーシャル」と並んで「ファイナンシャル」を構成要素として定義しています。経済的基盤があることがウェルビーイングにつながり、また逆に、経済的な不安を感じている人は他のウェルビーイングに悪い影響を及ぼすことが報告されています。

そのように考えますと、ウェルビーイングの1要素として「ファイナンシャルウェルビーイング」を捉えて、その向上を目指すような「金融経済教育」の在り方について議論を深めていくことは意義深いと思えます。

本準備学習会では、ウェルビーイングの1要素としての「ファイナンシャルウェルビーイング」の在り方やその実現に向けて、幅広く「情報共有」や「意見交換」をしていければと考えていますので、このようなテーマに少しでもご関心のある皆さまは、是非、ご参加ください。

(※)「ファイナンシャル ウェルビーイング」に関する考え方の一例として、下記のコラムもご参照ください。

[三井住友トラスト・資産のミライ研究所 | 三井住友信託銀行 \(smtb.jp\)](#)

2023年度下期 第1回 準備学習会資料から抜粋

2023 年 10 月 26 日

ファイナンシャル ウェルビーイング(FWB)準備学習会 (第一回)

三井住友信託銀行株式会社

上席理事 井戸 照喜(代表)

資産のミライ研究所 研究員 清永 遼太郎(共同代表)

<はじめに>

■ 本準備学習会の活動を通じて実現したいことについて

- “FWB”に関して概念の定義や明確化を図りたい (WB における立ち位置や WB の他の要素との関係整理も企図)
- WB 学会および学会員へ FWB の概念やその意義を発信し、学会内での理解・共感を広めたい
- (世の中の)多くの方に FWB とその取り組みについて認知いただける取り組みを検討したい
- 個人における FWB 向上に向けた具体的な取り組み策について検討したい
- 上記を通じて、FWB の効用を社会へ広め、多くの方に取り組んでいただくための「提言」を策定し、発信していきたい

オブザーバー:鈴木 寛理事 石川 善樹理事

属性	所属	名前	人数
アカデミア	東京大学公共政策大学院教授/ウェルビーイング学会副代表理事	鈴木様	1
アカデミア	大阪大学経済学研究科准教授	松井様	1
メディア・出版	博報堂	堂上様	1
メディア・出版	想研	白鳥様	1
メディア・出版	朝日新聞社	石川様	1
メディア・出版	金融財政事情研究会	竹中様	1
事業法人	オムロン共済会ウィズ	久門様	1
事業法人	ベネッセコーポレーション	田邊様、生咲様	2
調査・研究	お金の向こう研究所	田内様	1
調査・研究	フィンウェル研究所	野尻様	1
調査・研究	オフィス・リベルタス	大江様	1
調査・研究	WealthPark研究所	加藤様	1
調査・研究	ウェルビーイング政策研究所	谷様	1
個人	医師	野口様	1
個人	Protagon株式会社所属 アナウンサー/eスポーツキャスター	篠原様	1

属性	所属	名前	人数
FPビジネス	フィナンシャル・ウィズダム	山崎様	1
FPビジネス	ウェルスペント	横田様	1
FPビジネス	LIFE MAP	竹川様	1
FPビジネス	クレア・ライフ・パートナーズ	高橋様、工藤(卓)様、安田様	3
FPビジネス	ブロードマインド	長谷川様、中村様	2
金融関係	MS&ADインターリスク総研	森本様	1
金融関係	三井住友海上火災保険	竹村様、齋間様、宗像様、小田様、大西様	5
金融関係	住友生命保険	藤本様、百田様、山田様、三枝様、村田様	5
金融関係	第一生命経済研究所	村上様、高宮様、西野様	3
金融関係	三井住友信託銀行 人事部・資産のミライ研究所	矢島、岡本、丸岡、杉浦、矢野、榎本	6
金融関係	日興アセットマネジメント	今福様	1
金融関係	MILIZE	内田様	1
金融関係	アセットマネジメントOne (未来をはぐくむ研究所)	坂内様	1
金融関係	東海東京証券	藤井様	1
金融関係	SMBCコンシューマーファイナンス	加藤様、坂越様、正木様、栗原様、下村様	5
金融関係	事務局(座長、副座長)	井戸、清永	2

※ 対外的な資料において、本分科会のメンバーを掲載させていただく場合がございます。
問題がある場合は、その旨を事務局までご連絡ください。

FWB分科会の活動 金融機関向け「ファイナンシャル・ウェルビーイング入門講座」

- FWB分科会メンバーが金融機関向けの通信教育教材を執筆
- 金融財政事情研究会が本講座の提供を開始（2024年8月）

開講の趣旨

- ◆ 人的資本、女性活躍、健康経営等で注目の“ウェルビーイング”を理解できる
- ◆ 社内外での従業員エンゲージメントの向上に活かせる知識を学べる
- ◆ ウェルビーイング経営、金融経済教育、地域創生・活性化等の取組みがわかる

教材構成 執筆／企画協力

第1分冊 ～理論編～

- 鈴木 寛氏／東京大学公共政策大学院教授 兼 慶応義塾大学政策・メディア研究科教授（序論）
- 第一生命経済研究所（本論）

第2分冊 ～実践編～

- 三井住友信託銀行（本論）
- 他、「取り組み事例」にて、オムロン共済会ウィズ、FP山崎氏、住友生命などの分科会メンバーを含む多数の金融機関・事業会社の事例を掲載



目次

第1分冊 ウェルビーイング×ファイナンシャルの理解

- 序章 ウェルビーイングとファイナンシャル・ウェルビーイング
- 第1章 ウェルビーイングの定義と現在地
- 第2章 日本の政策動向（ウェルビーイング政策、人的資本経営）
- 第3章 ファイナンシャル・ウェルビーイングの向上に向けて
- 付録 取組み実践例の紹介
(経営方針（人的資本経営等）での取組み)

第2分冊 金融機関×伴走×従業員エンゲージメントの実践

- 第1章 金融機関がファイナンシャル・ウェルビーイングを学ぶ理由
- 第2章 金融機関が取り組むファイナンシャル・ウェルビーイング実践
- 付録 取組み実践例の紹介
(金融経済教育、独自の社内外での取組み)
(業界連携、産官学民としての地域創生・活性化での取組み)

「ファイナンシャル・ウェルビーイング入門講座」のテキストに17社の事例を掲載

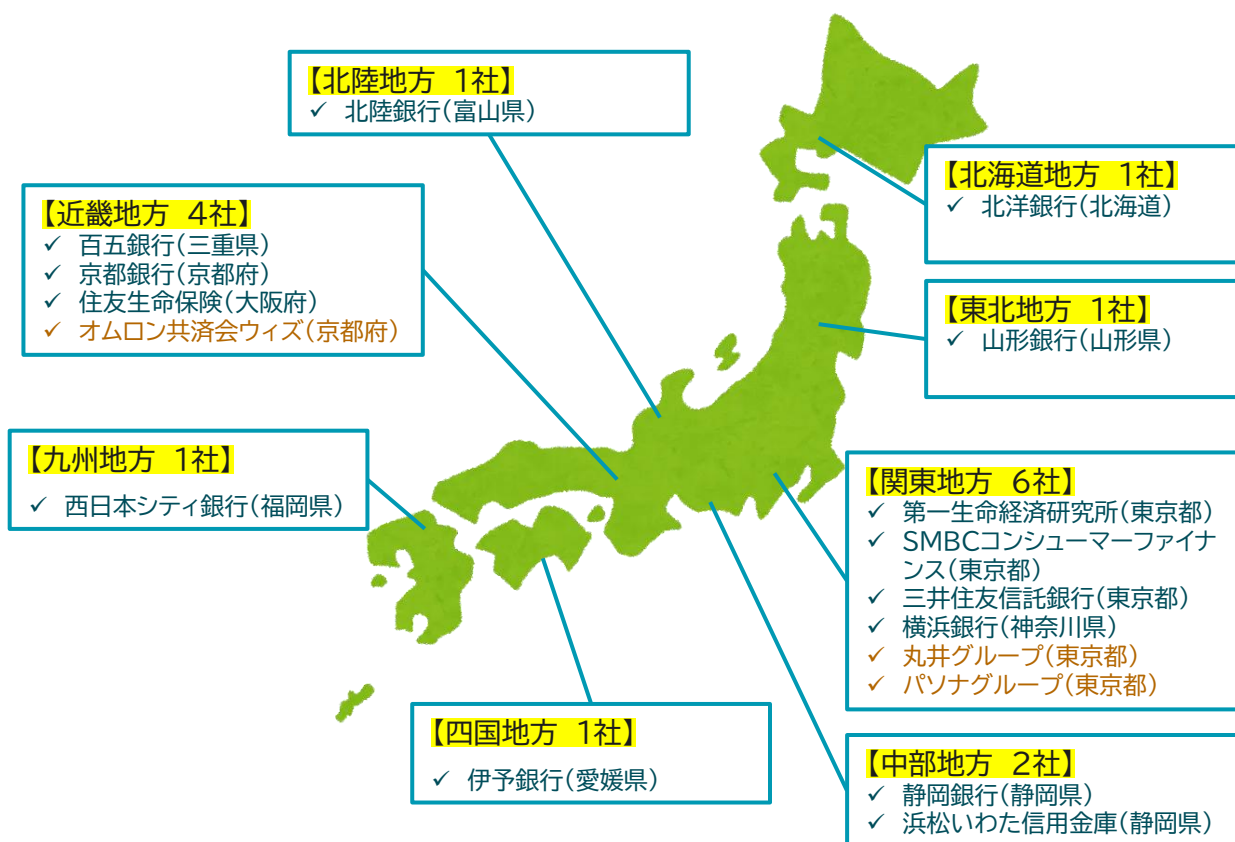
- 通信教育教材には、金融機関ならびに事業会社の「ウェルビーイング経営、金融経済教育、地域創生・活性化等の取組み事例」を掲載

金融機関（14社）

- 北洋銀行 (北海道)
- 山形銀行 (山形県)
- 北陸銀行 (富山県)
- 第一生命経済研究所 (東京都)
- SMBCコンシューマーファイナンス (東京都)
- 三井住友信託銀行 (東京都)
- 横浜銀行 (神奈川県)
- 静岡銀行 (静岡県)
- 浜松いわた信用金庫 (静岡県)
- 百五銀行 (三重県)
- 京都銀行 (京都府)
- 住友生命保険 (大阪府)
- 伊予銀行 (愛媛県)
- 西日本シティ銀行 (福岡県)

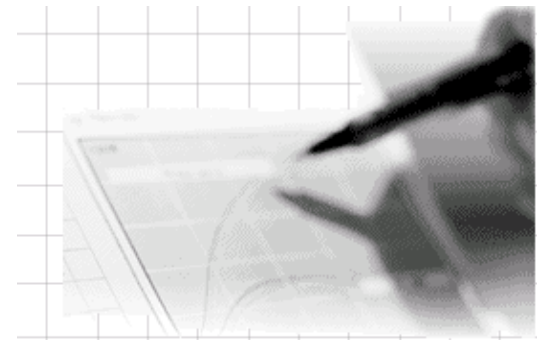
事業会社（3社）

- 丸井グループ (東京都)
- パソナグループ (東京都)
- オムロン共済会ウィズ (京都府)



2 「ウェルビーイング」と「人的資本経営」の関係

～ファイナンシャル・ウェルビーイングの文脈で読み解く～



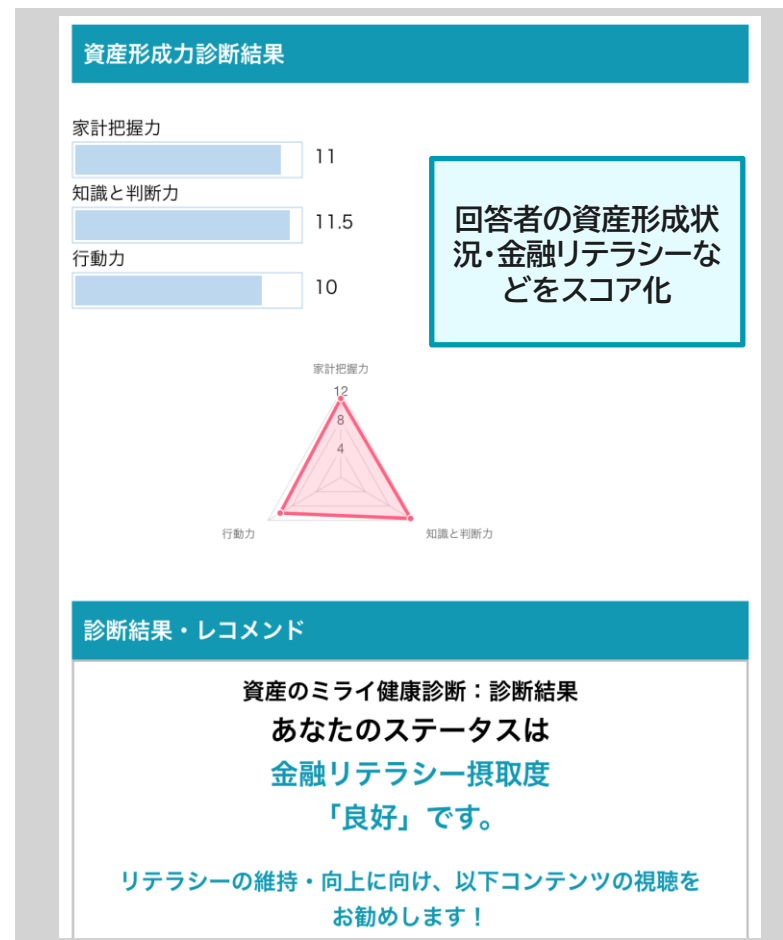
『資産のミライ健康診断』（「家計把握力、金融知識、行動力」を診断）

金融リテラシー（“資産形成力”）をスコア化し、診断結果に応じた自主学習コンテンツをレコメンド

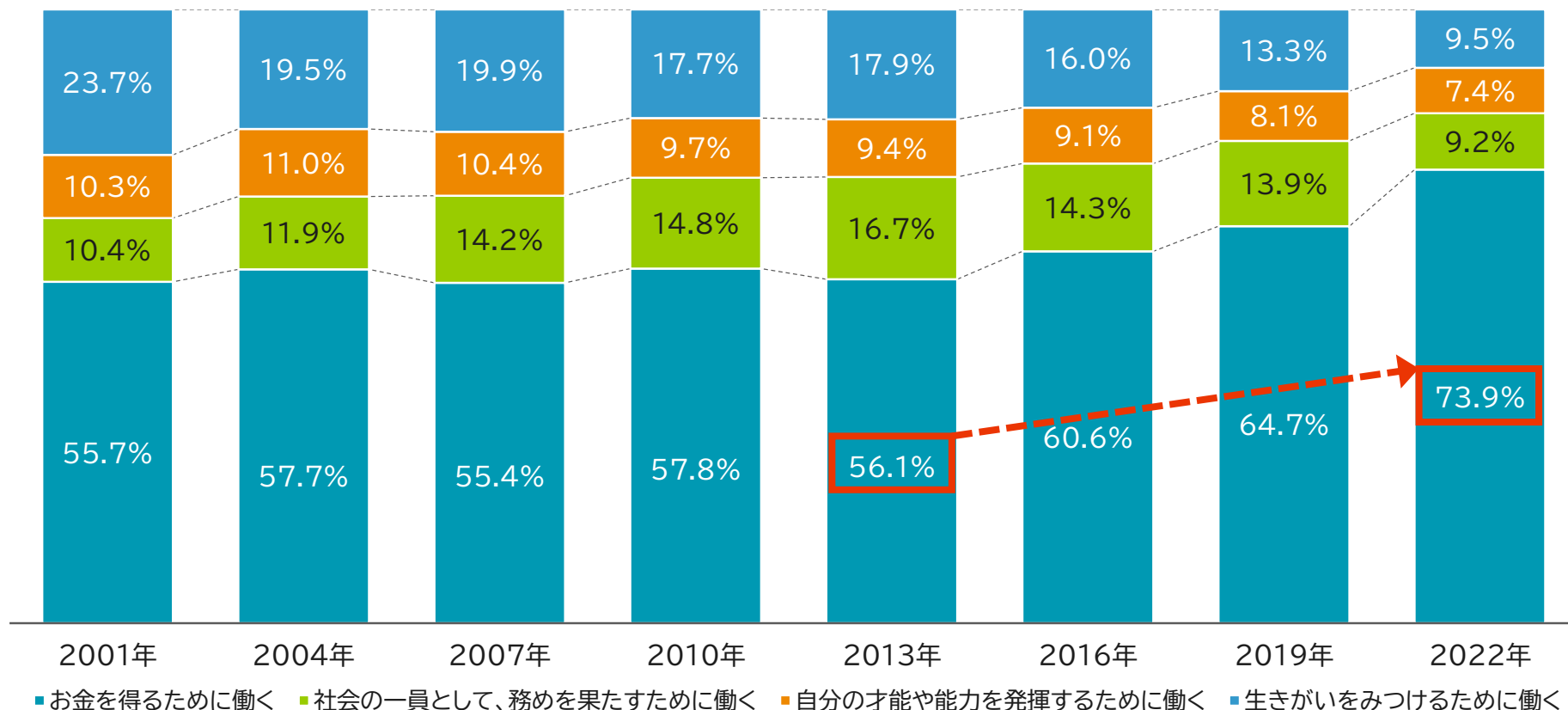
- 設問は「家計に関する設問」と「金融リテラシーに関する設問」（①家計の現在把握や将来への備え（家計把握力）、②金融関連の知識（金融知識）、③資産形成・活用に関する意識（行動力））

Q1	自分自身の（もしくはあなたの家計の）ライフプランを立てていますか。
Q1-2	計画しているライフプランに応じた資金準備（もしくは資金準備の算段）をできていると感じますか。
Q2	あなたの家族において、世代間でお金についての会話がありますか。（例：子供とはお金に関すること、親とは資産管理・承継に関すること、など）
Q3	世帯の1ヶ月の収入額と支出額をしっかりと把握していると思いますか。
Q4~14	一問一答リテラシークイズ
Q15	金融商品を選択する際に何らかの情報を活用しますか。※金融商品とは、預金、有価証券、保険など
Q15-2	情報を活用する場合には、どのようにして情報を得ますか。（複数回答可）
Q16	次の各種制度をご存じですか。（複数回答可） ※財形・DC・NISA・など
Q16-2	（知っているものについて）その制度を利用していますか
Q17	同年代と比較して、ご自身の金融リテラシーは高いと思いますか
Q18	世帯主の事故や死亡など、一時的に収入が減少する場合に備えて、生活資金を準備できていると感じますか。
Q19	自己実現（幸せ）に向けてお金の面で苦労はしていないですか。
Q20	何のために働いているか、あなたに一番当てはまると感じるものをお選びください。

診断結果画面



- 「2001年」(55.7%)→「2022年」(73.9%)と「お金を得るために働く」が年々増加する傾向
- とくに、直近10年程度は、その傾向が顕著に

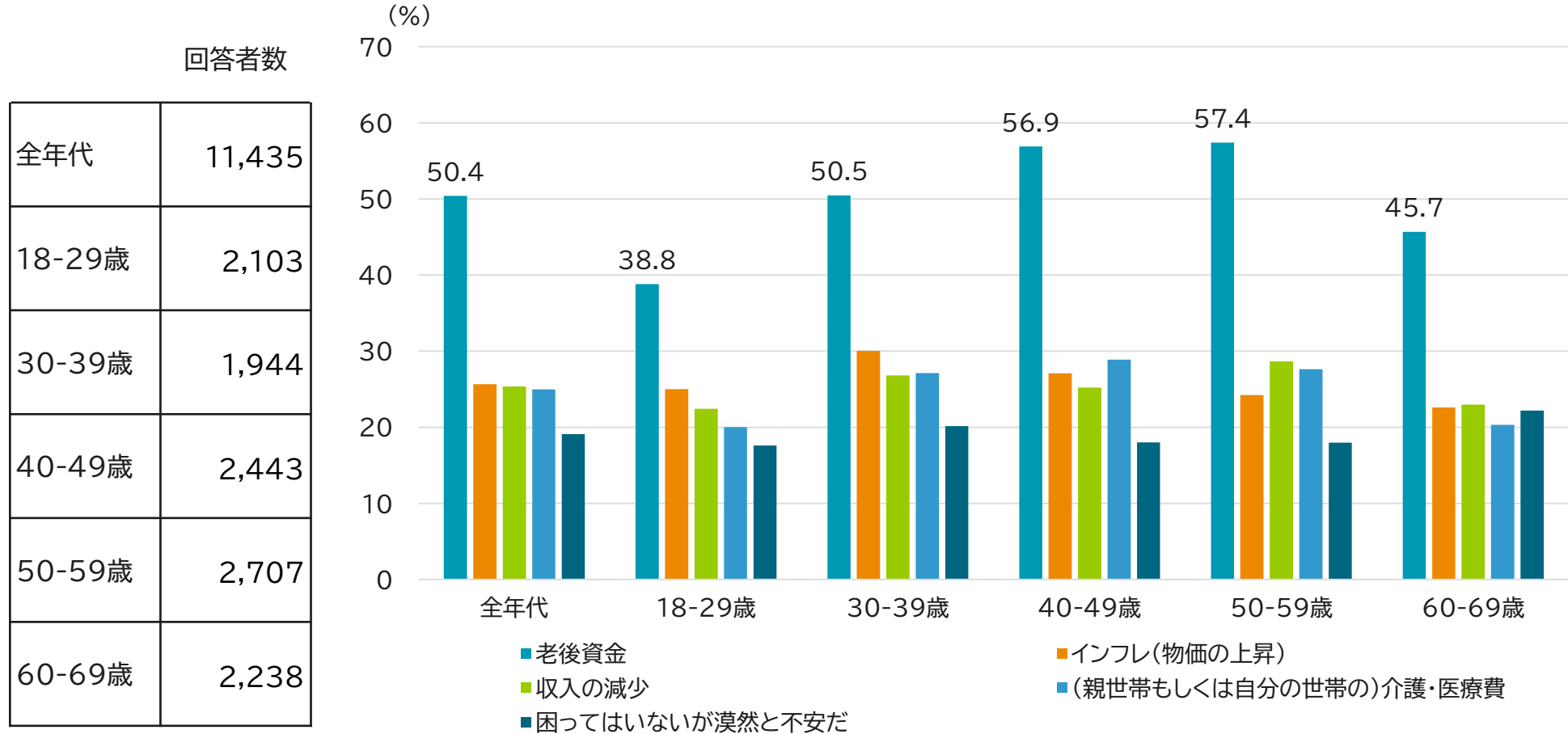


(出所)内閣府「国民生活に関する世論調査」(2001年～2022年)より三井住友トラスト・資産のミライ研究所作成

(※)「わからない、無回答、その他」・「70歳以上の回答者」は除外して割合を算出

■ お金に関する不安のトップは「老後資金」(全ての年代において共通)

お金に関する不安(上位5項目) ※複数回答可

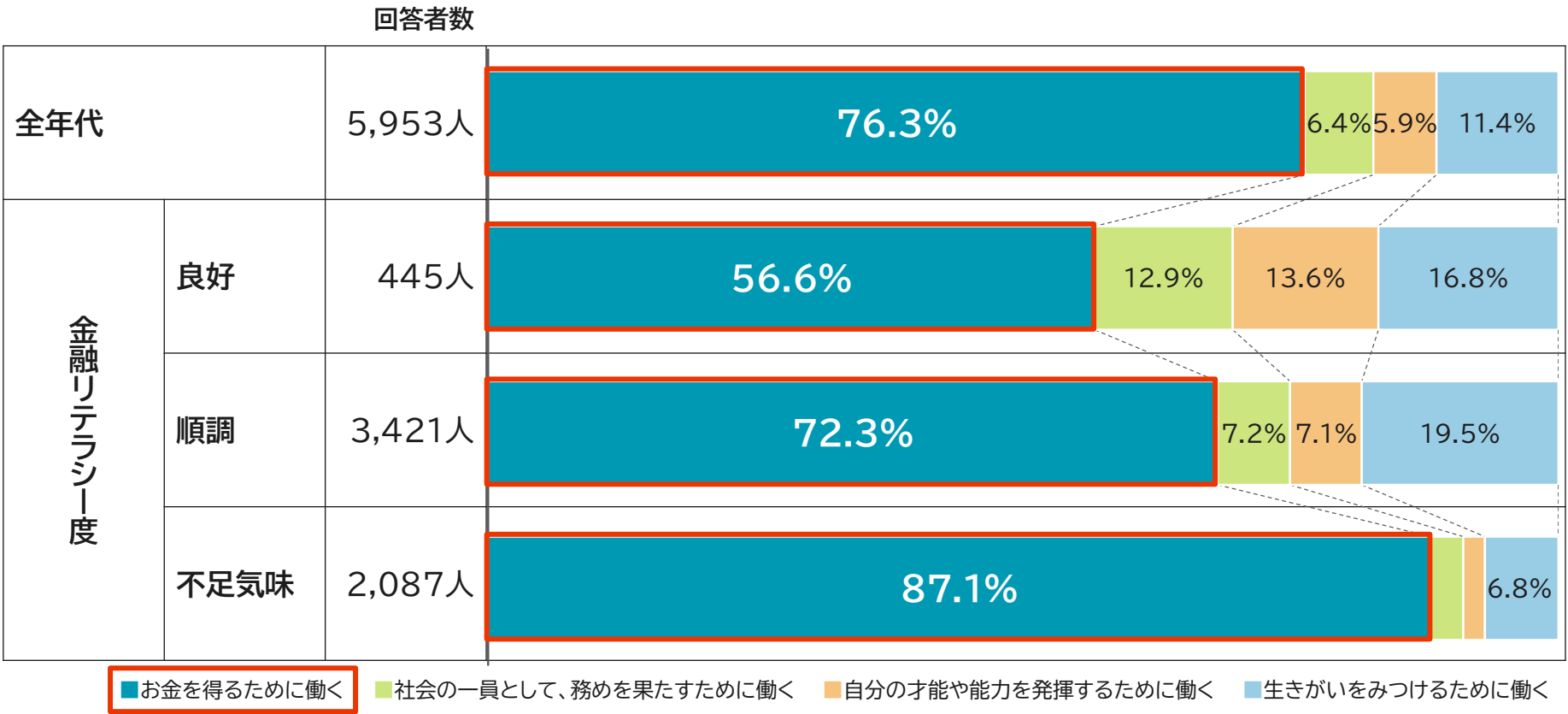


(出所)三井住友トラスト・資産のミライ研究所「住まいと資産形成に関する意識と実態調査」(2025年)

金融リテラシー度と「働き方」の関係 ①

■ 金融リテラシー度(スコア)が良好なほど「お金を得るために働く」という回答は減少

「金融リテラシー度」と「働く目的」※1,2



(出所)三井住友トラスト・資産のミライ研究所「金融リテラシー度とファイナンシャル ウェルビーイングに関する実態調査」(2023年)

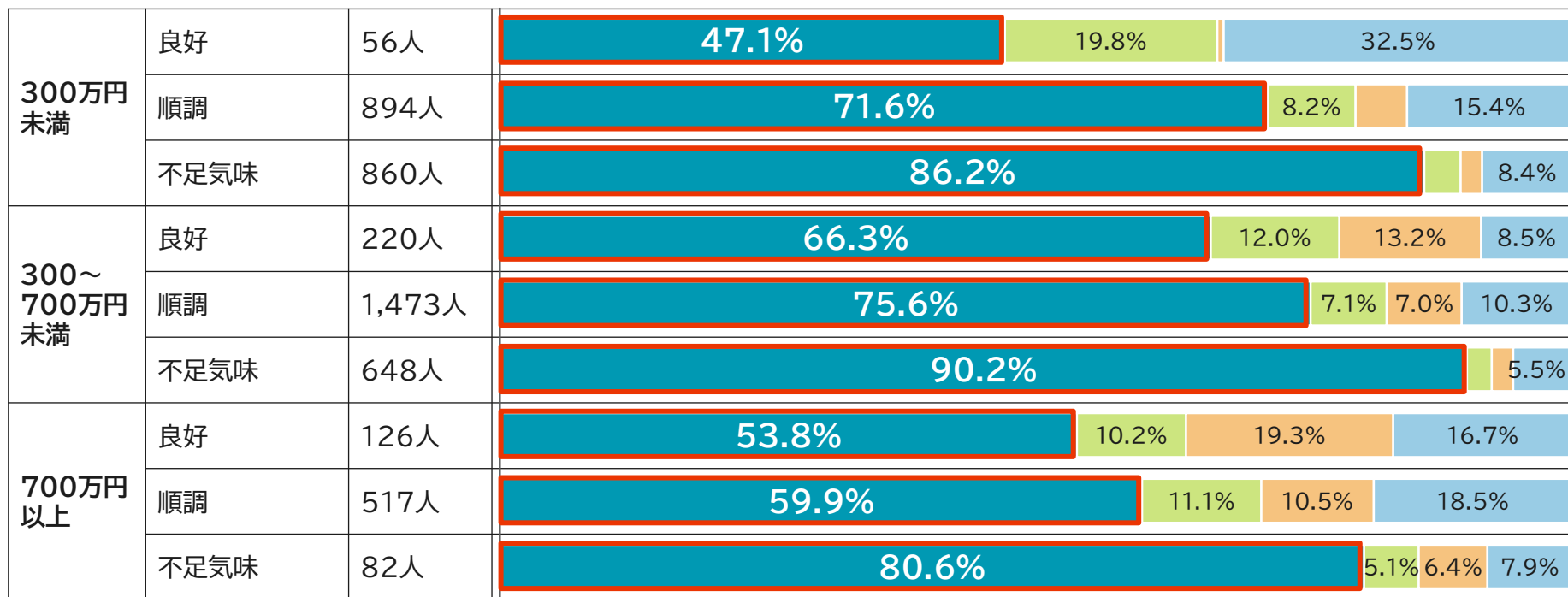
※1: 選択肢「いずれにもあてはまらない・わからない」を除く
※2: 5%未満はグラフ内の比率表示を省略

金融リテラシー度と「働き方」の関係 ②

- 金融リテラシー度(スコア)が良好なほど「お金を得るために働く」という回答は減少
→ **どの年収区分でも同様の傾向**

<年収区分別>「金融リテラシー度」と「働く目的」※1, 2

年収区分 金融リテラシー度 回答者数



■ お金を得るために働く ■ 社会の一員として、務めを果たすために働く ■ 自分の才能や能力を発揮するために働く ■ 生きがいを見つけるために働く

(出所)三井住友トラスト・資産のミライ研究所「金融リテラシー度とファイナンシャル ウェルビーイングに関する実態調査」(2023年)

※1: 選択肢「いずれにもあてはまらない・わからない」を除く
※2: 5%未満はグラフ内の比率表示を省略

「所得に対する主観的感情」が「生活評価指数(ウェルビーイング実感)」に最も影響

- 日本版Well-being Initiativeの調査(2023年第2四半期)によると、「現在の生活」と「5年後(将来)の生活」それぞれの影響要因のトップは「**所得に対する主観的感情**」

現在と5年後の生活指数の影響要因 影響度によるランキング

現在の生活に 対する影響要因

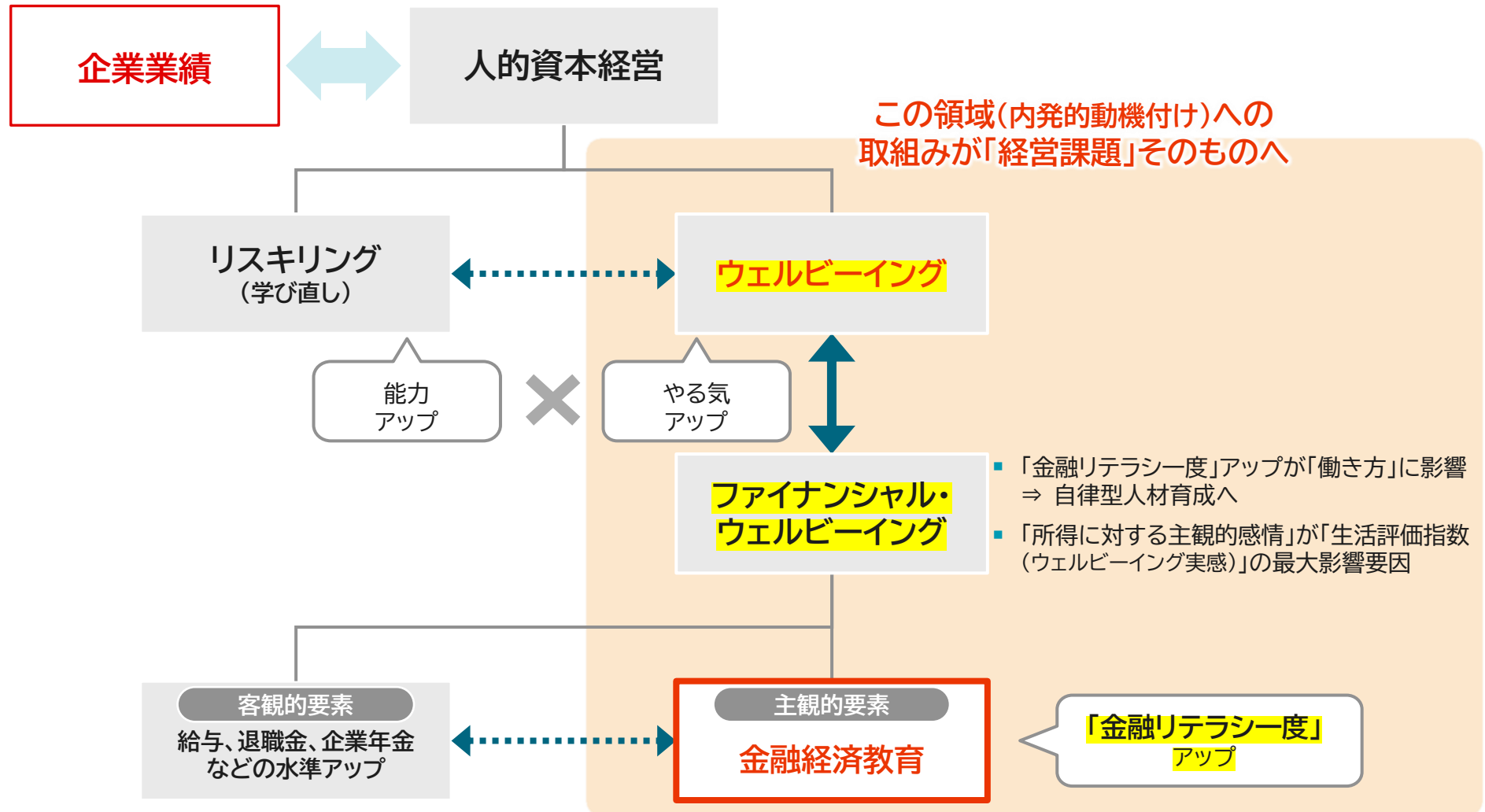
1. 所得に対する主観的感情
2. 人生における選択の自由
3. 最低生活費の有無
4. 世帯規模
5. 困った時に頼れる人の有無
6. 健康上の問題
7. 最終学歴
8. 婚姻状態
9. 地域性(都市部・地方部)
10. 性別
11. 雇用状態*
12. 客観的な所得*
13. 年齢*

5年後の生活に 対する影響要因

1. 所得に対する主観的感情
2. 人生における選択の自由
3. 年齢
4. 困った時に頼れる人の有無
5. 地域性(都市部・地方部)
6. 世帯規模
7. 最終学歴
8. 健康上の問題
9. 最低生活費の有無
10. 雇用状態
11. 性別*
12. 婚姻状態*
13. 客観的な所得 *

*注:これらの指標は、P値0.05以下であり、統計的に主観的ウェルビーイングの影響要因としての重要性が低い。
本ランキングは2023年ギャラップ社が日経のためにDatawrapperで作成

人的資本経営における「ウェルビーイング」と「金融リテラシー度」の関係



(出所)井戸照喜『ファイナンシャル・ライフ・エンジニアリング ―したたかに“楽しむ”！洗練された「人生の経営者」を目指して』(一般社団法人 金融財政事情研究会)より

3

「ウェルビーイング」向上のカギは「お金の健康」と「心身の健康」

～ 「FWB×PWB マトリクス・モデル」の分析結果を交えて ～



「ウェルビーイング学会/FWB分科会」が実施したアンケート調査の概要

1. 調査名：「ファイナンシャル・ウェルビーイングに関する実態調査」(2025年)
2. 調査対象：全国の18～79歳
3. 調査方法：WEBアンケート調査
4. 調査時期：2025年1月
5. サンプルサイズ：11,022
6. サンプルの属性(年代別)

18－19歳	274
20－29歳	1,339
30－39歳	1,579
40－49歳	2,070
50－59歳	1,966
60－69歳	1,848
70－79歳	1,946

7. 備考：端数処理の関係上、割合については合計で100%とならない場合があります

「FWB(実感)」と「金融リテラシー(点数)」の関係

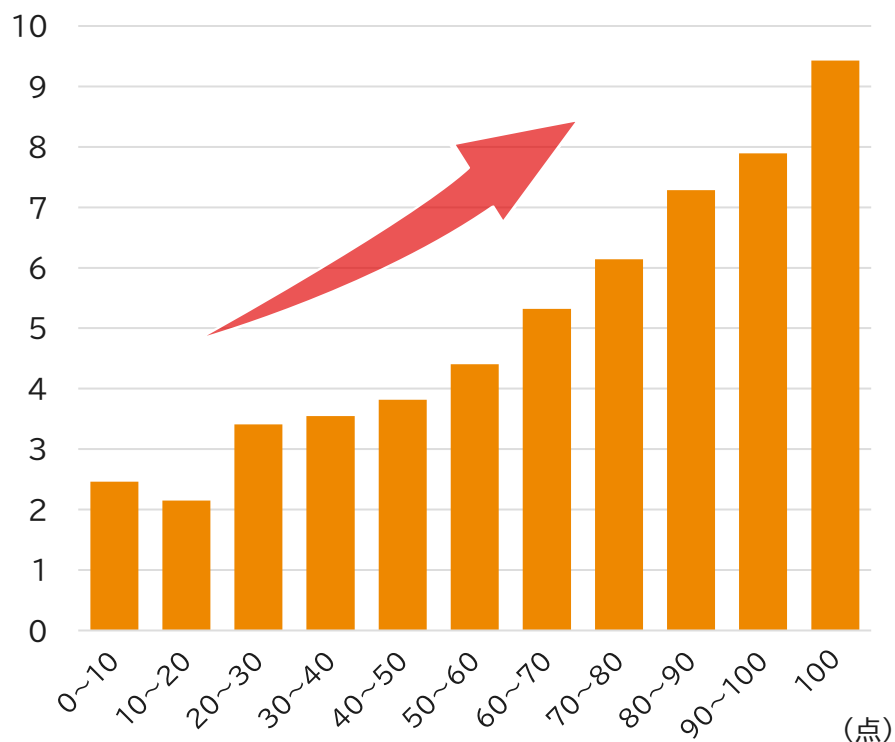
「金融リテラシー(点数)」が高い人ほど、現在および将来の「FWB度(実感)」も高い

「金融リテラシー(点数)」別^(※1)、「FWB(実感)」^(※2)の分布

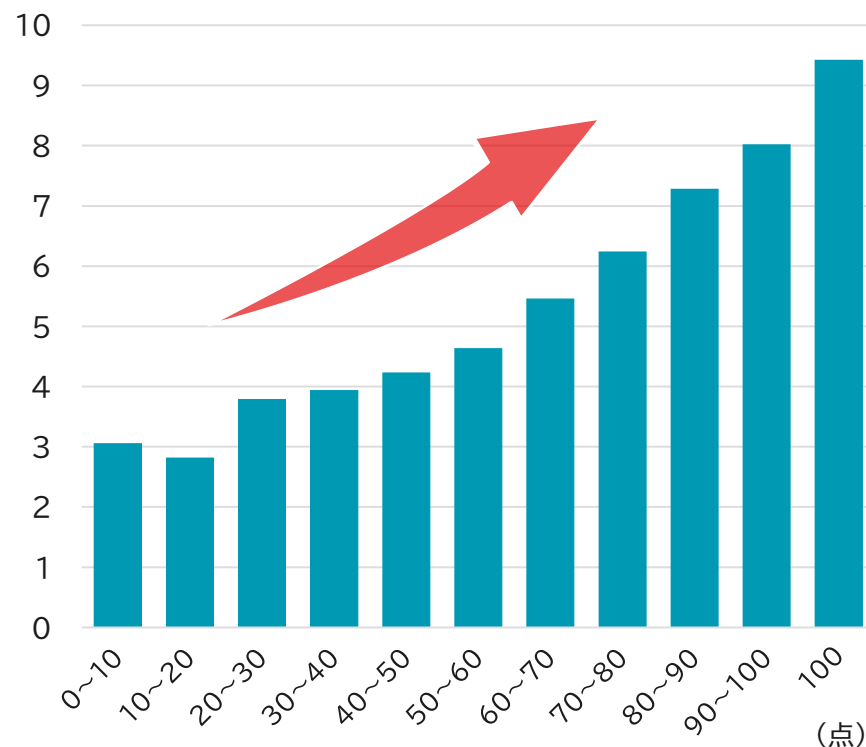
(※1)家計把握力(収支把握・将来設計)、金融知識、行動力(生活資金のそなえ、老後資金準備状況)を問い、100点満点でスコアリングしたもの

(※2)FWBに関する実感(現在および5年後)を0～10の11段階で自己評価したもの

FWB(実感)の現在スコア



FWB(実感)の将来スコア

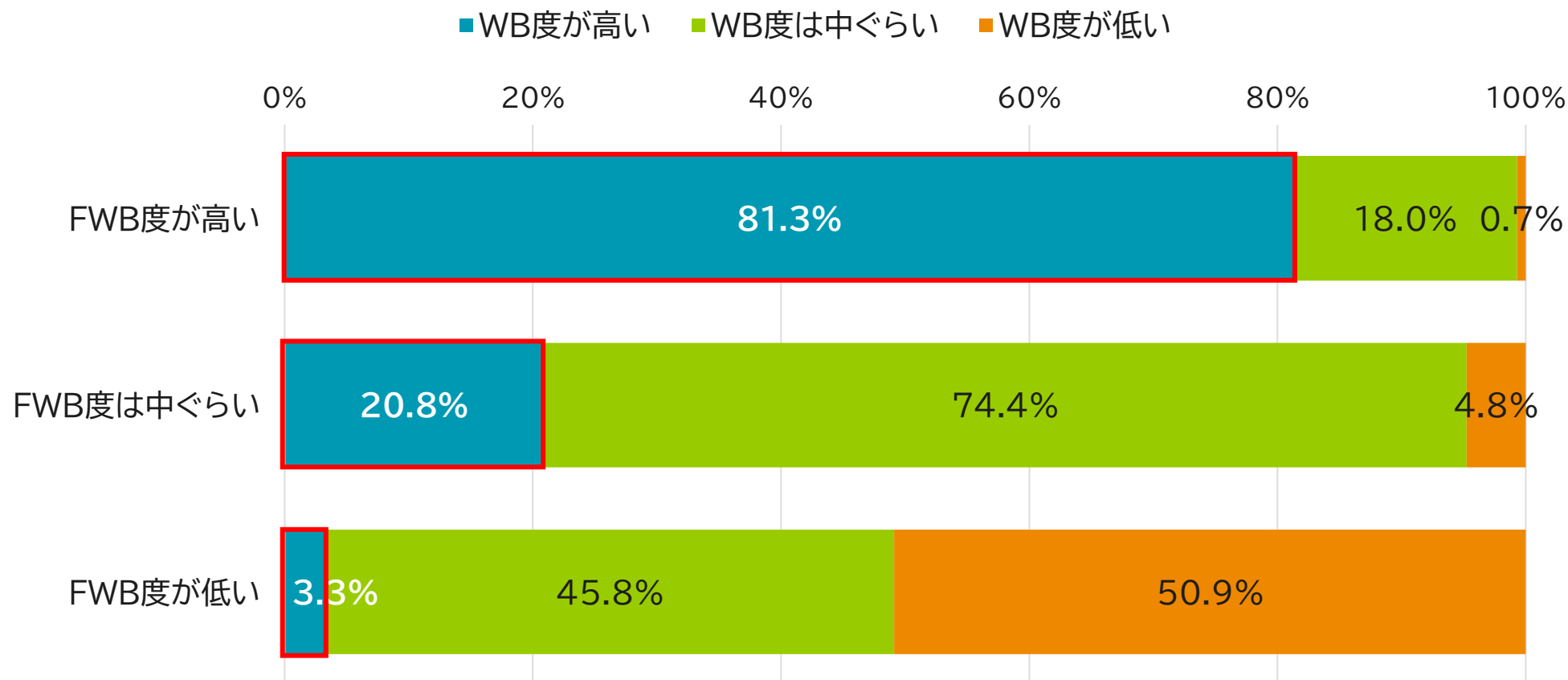


「FWB度」と「WB度」の関係

「FWB度」が高い人ほど、「WB度」も高い

「FWB度」(※)別、「WB度」(※)の実感分布

(※)「FWB度」「WB度」は、「現在7以上かつ5年後8以上」を「高い」「現在4以下かつ5年後4以下」を「低い」とし、左記以外を「中ぐらい」として判定

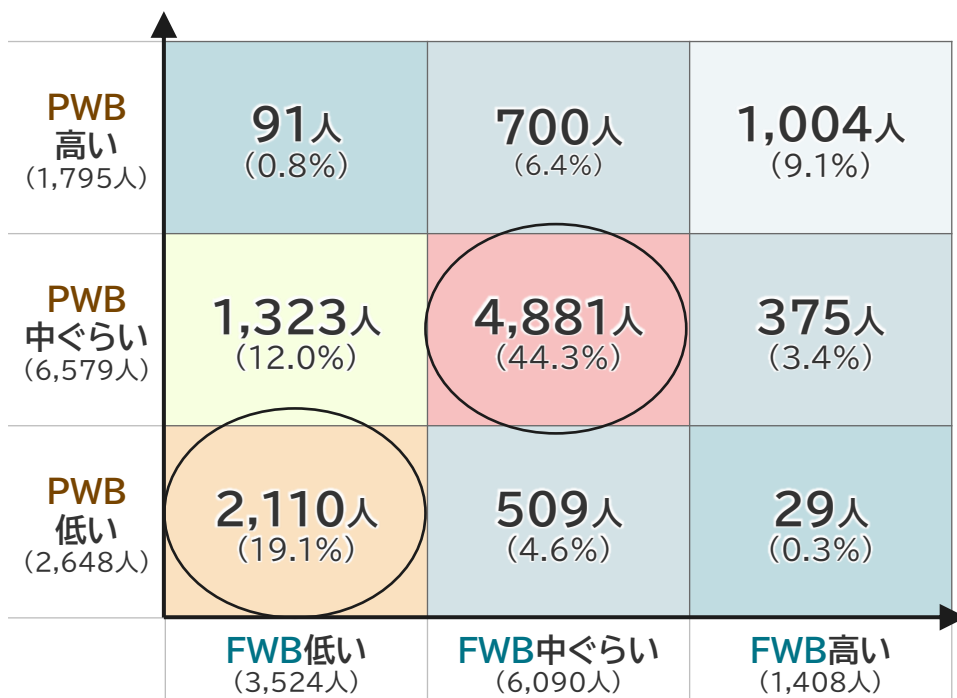


(出所)ウェルビーイング学会／ファイナンシャル・ウェルビーイング分科会「ファイナンシャル・ウェルビーイングに関する実態調査(2025年)」

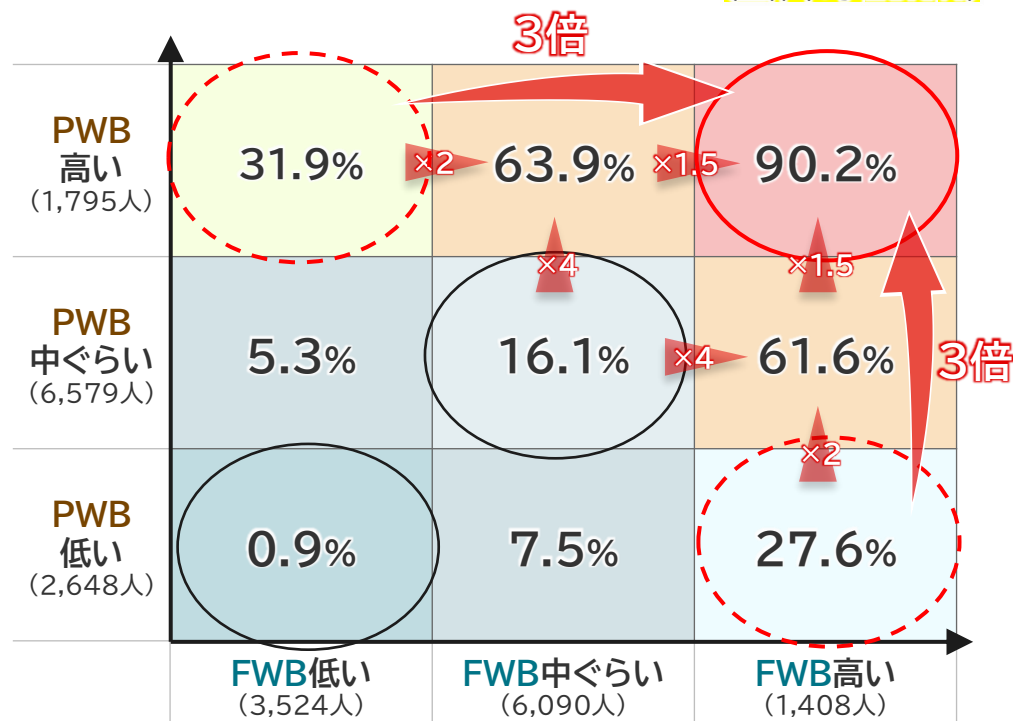
「FWB度」と「PWB度」(心身の健康)の関係②

- 「FWB度」と「PWB度」の実感別に「9個のセグメント」に分割すると、一番多いセグメントは「両方が中ぐらい(44.3%)」、次に多いのは「両方が低い(19.1%)」
- 「WB度」の高い人の割合(全体平均は23.0%)に対して、「両方が高い」のセグメントは「90.2%」。「両方が低い」から「片方だけが高い(赤点線のセグメント)」を目指しても、「WB度」の高い人の割合は3割程度。
⇒ 「FWB度」と「PWB度」の両方をアップさせることで、「WB度」の高い人の割合が3倍(3割⇒9割)に向上

「FWB度」「PWB度」別の人数分布 (n=11,022)



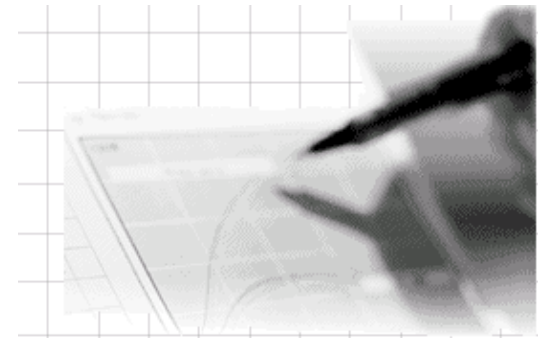
セグメント別の「WB度」が“高い”の人の割合 (全体平均: 23.0%)



4

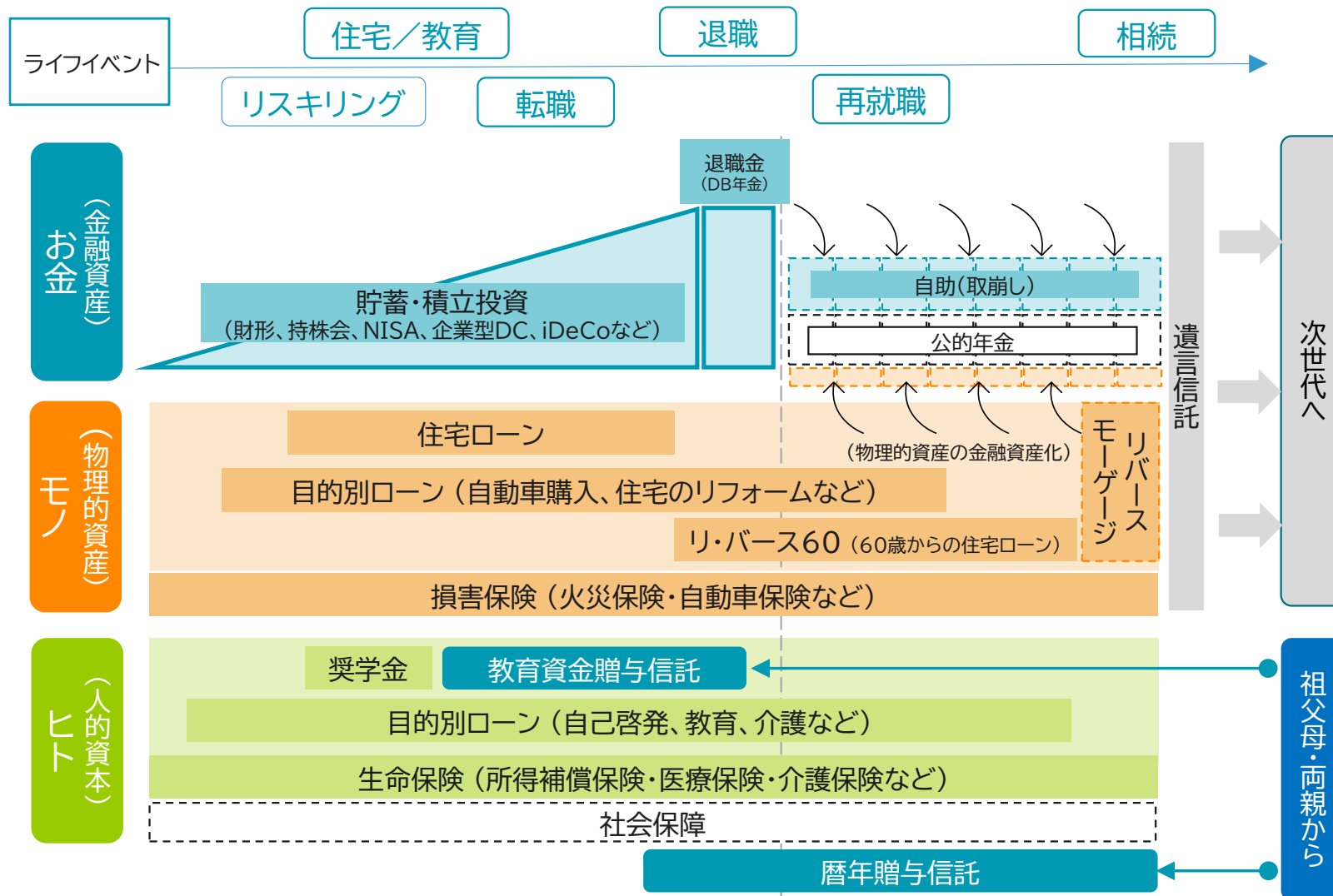
今、なぜ、「ファイナンシャル・ウェルビーイング」が重要なのか？

(1) 従業員の視点/個人の視点

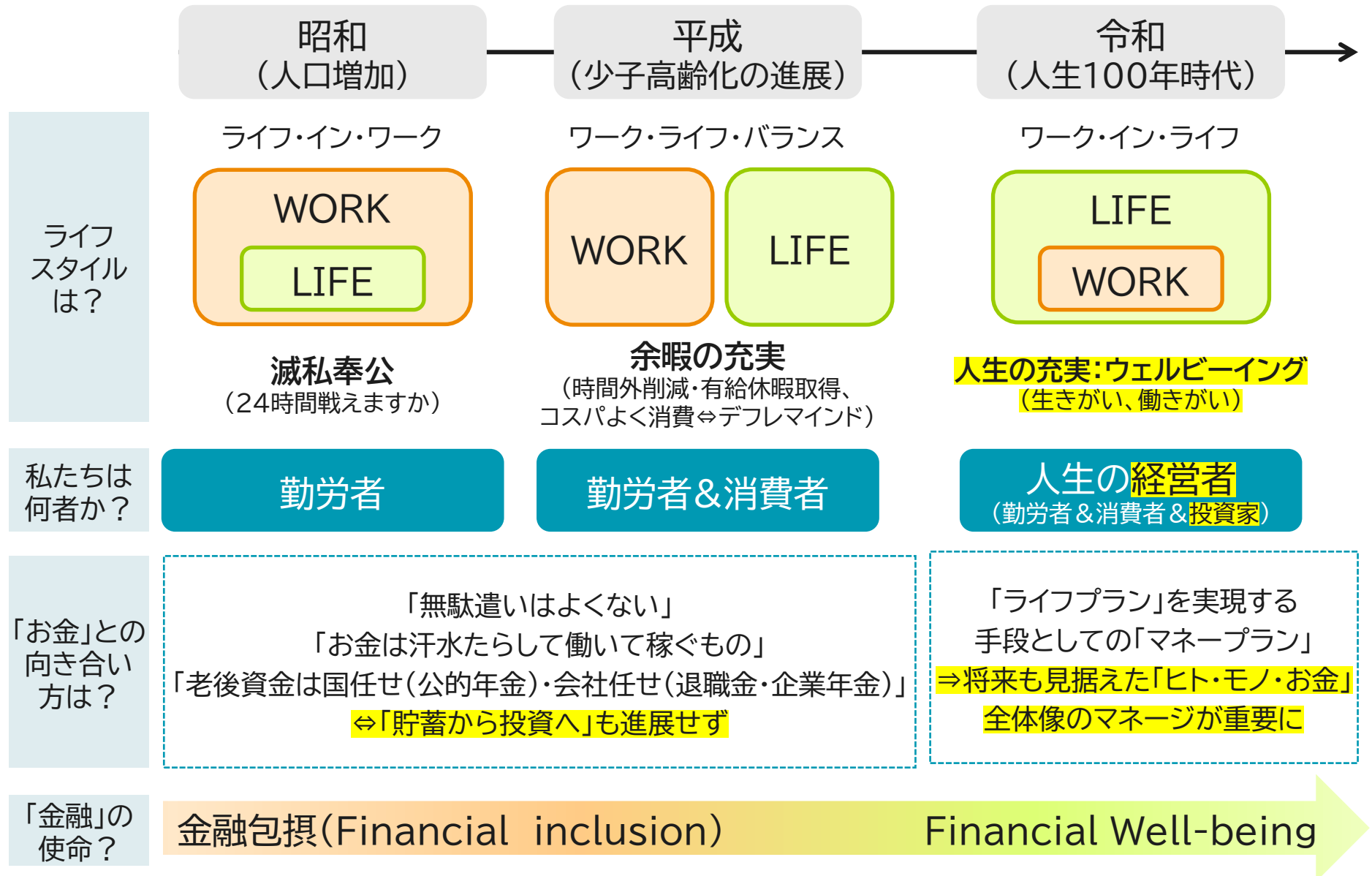


「ファイナンシャル・ウェルビーイング」と金融商品・サービスの関係

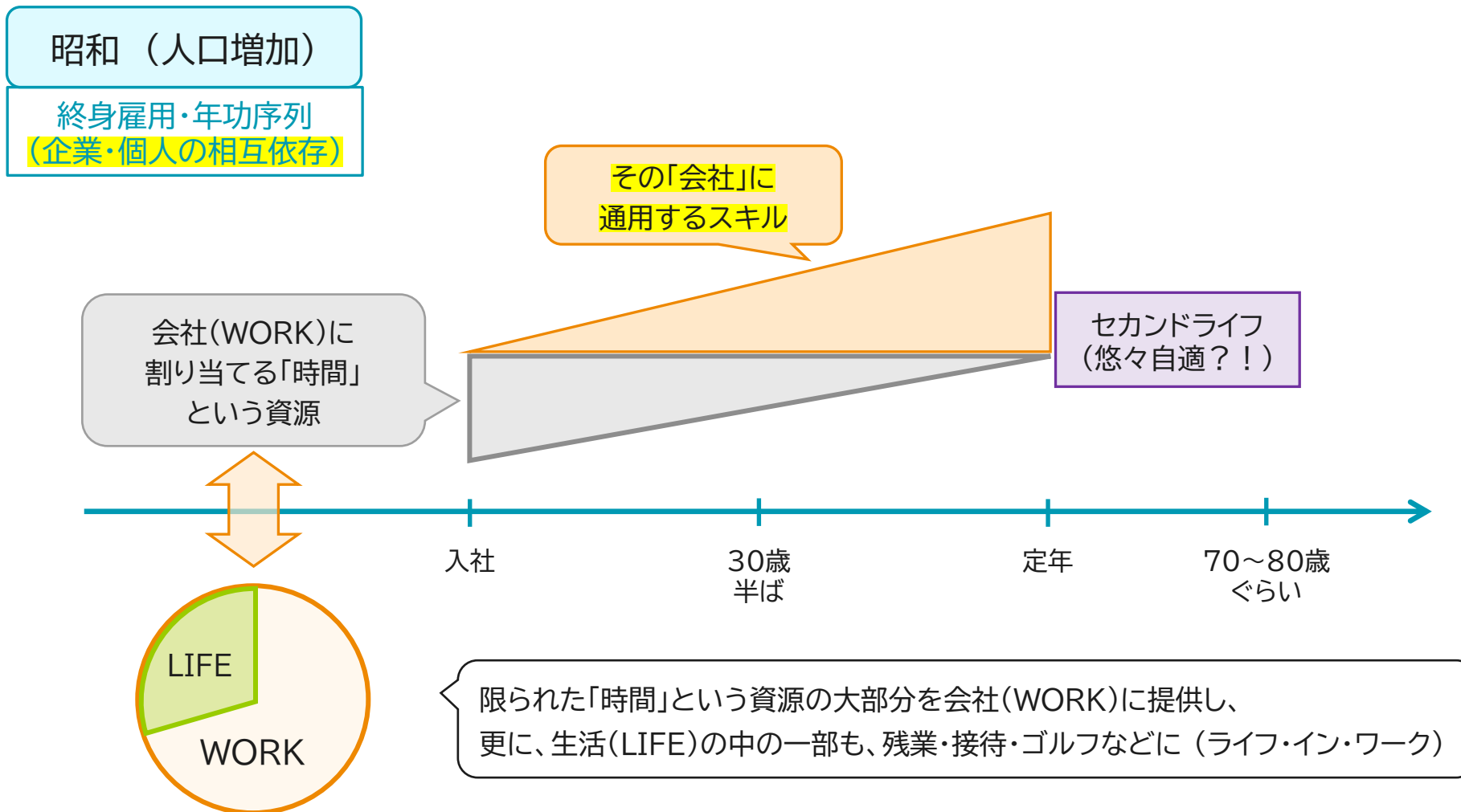
「ファイナンシャル・ウェルビーイング」とは、「将来のライフイベントを適切に把握し、賢い意思決定によりお金に関する不安を解消させ、未来に向けて自律的に行動できる状態」のこと！



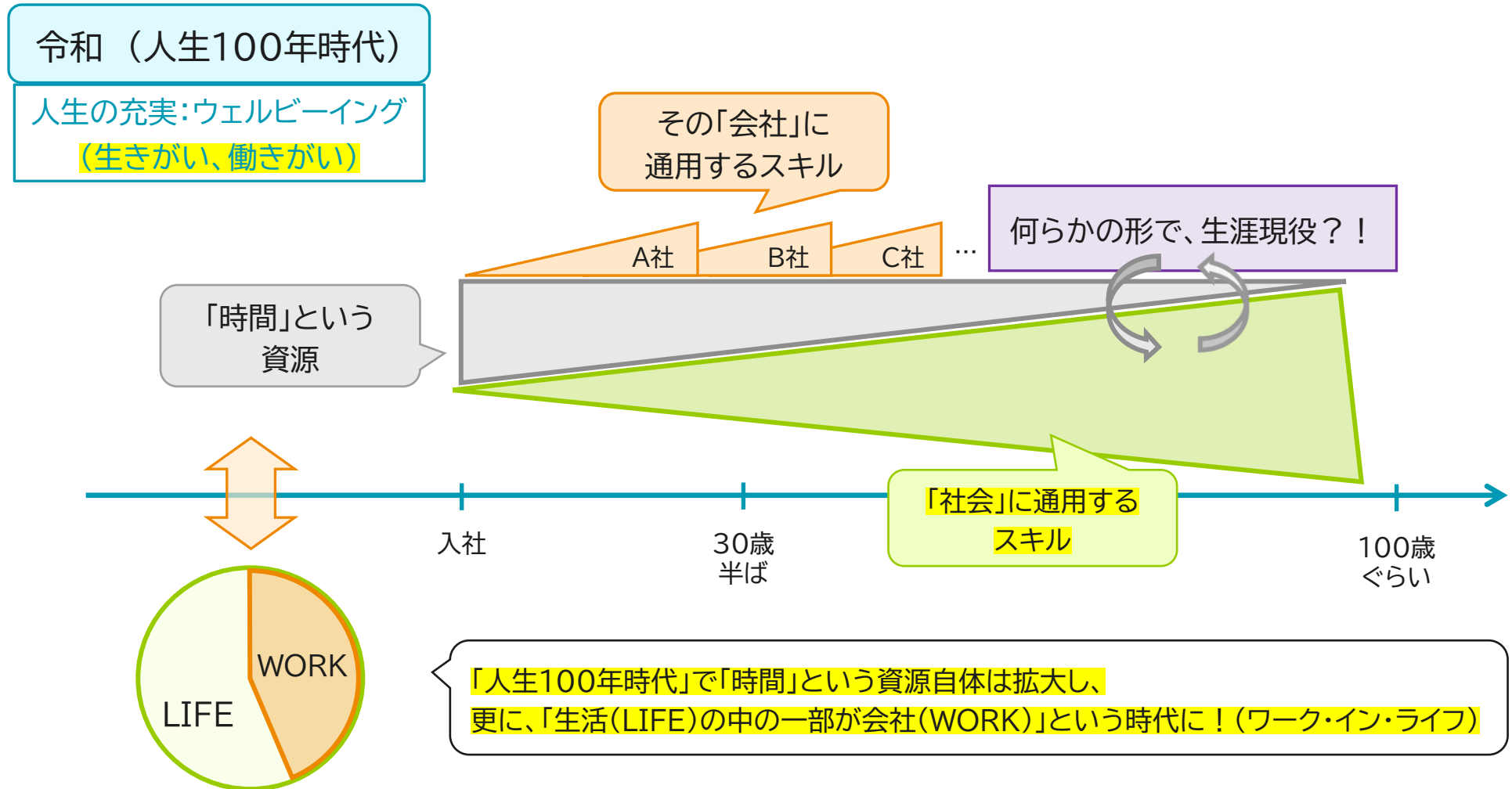
今、なぜ、「ファイナンシャル・ウェルビーイング」が重要なのか？



(これまでの)スキル習得 ～「昭和」の“終身雇用”モデル～



「ウェルビーイング」に繋がるスキル習得 ～「令和」の“人生の経営者”モデル～



4

今、なぜ、「ファイナンシャル・ウェルビーイング」が重要なのか？

(2) 企業の視点



変革の方向性 ～「人材版伊藤レポート」より抜粋～



2. 変革の方向性

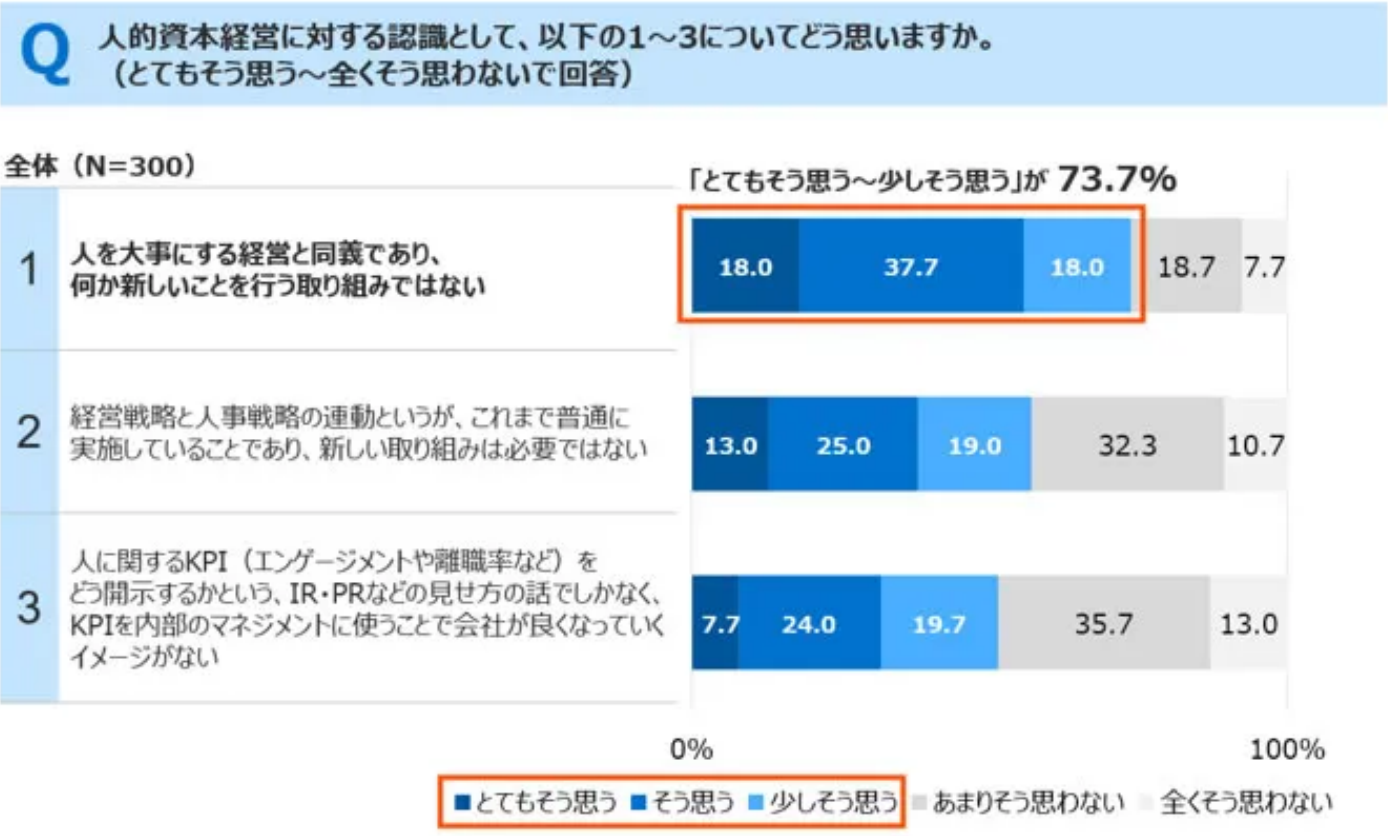
(5)個と組織の関係性: “相互依存”から“個の自律・活性化”へ

個人は、キャリアを企業に委ねるのではなく、キャリアオーナーシップを持ち、自らの主体的な意思で働く企業を選択することが求められる。同時に、人生100年時代の中で、社会で活躍する期間が長くなることも見据え、社会人になった後も継続的な学び直し、時代にあったスキルセットを身につけることが求められる。

出所： 持続的な企業価値の向上と人的資本に関する研究会報告書 ～人材版伊藤レポート～（令和2年9月 経済産業省）

人的資本経営に対する一般的な認識（日本総研HPより）

人事・採用の最終決裁権者300人を対象とした日本総研の調査：73.7%が「（人的資本経営は）人を大事にする経営と同義であり、何か新しいことを行う取り組みではない」ととらえている



【出所】日本総研調査『人的資本経営に関する調査（令和3年12月）』に基づき日本総研作成

ファイナンシャル・ウェルビーイング向上に向けた 要素

下記、「4つのプロセス」を通じて資産形成をサポートすることがFWBの要素

ファイナンシャル・ウェルビーイング実現のための要素を分解



- “学ぶ”だけでは、「自分事化」する(=“把握”する)プロセスが不足
- “把握”することで自分事化はできるが、お金の話は個別性も強く、“相談”も必要
- “相談”を適宜活用することで悩みや疑問の解消が期待される。
- “行動”に移すための、理解しやすく・利用しやすい適した金融商品・サービスが必要
- これらにより、将来を見据えた自律的な家計行動ができる。
さらに、行動による結果は、自身で学びに変えてアップデートをしていくことが必要ともいえる。

【ご参考】「お金の健康」の維持・増進のためのフレームワーク（イメージ）

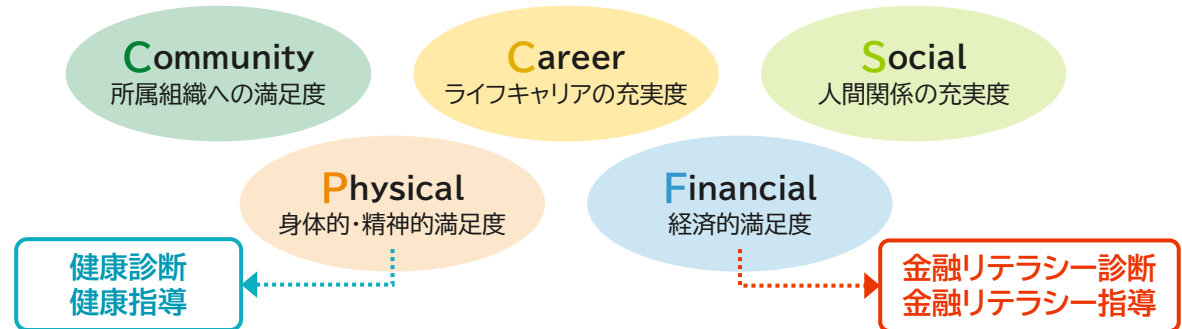
職域で定着している先例・取組みに学ぶ

- 健康分野による取組みに学び、企業でフレームワーク(以下2点)を構築し、定期的・持続的な取組みを推進

「お金の健康」の維持・増進のためのフレームワーク

- ① 金融リテラシー診断
- ② 金融リテラシー指導

人的資本経営の重要な指標の1つとしてのWell-being



国民の「お金の健康」の維持・増進に向けた仕組み

- 国民の「健康」維持・増進には「職域」での健康診断・健康指導が寄与。「お金の健康」の維持・増進もその仕組みを活用

【勤労者の健康維持・増進】

(労働安全衛生法)
健康診断の実施

- 事業主：健康診断実施を義務化
- 勤労者：健康診断の受診義務あり

+

(労働安全衛生法)
産業医の設置

- 産業保健の理念や知識を持ち、勤労者の健康維持と増進を目指した活動を遂行

【勤労者の「お金の健康」の維持・増進】

金融リテラシー診断
の実施

- 事業主：金融リテラシー診断実施を義務化
- 勤労者：金融リテラシー診断の受診義務あり

+

金融リテラシー
提供者の設置

- 資産形成に関する理念や知識を持ち、勤労者への金融教育と資産形成を目指した活動に従事

5

最後に ～「ファイナンシャル・ウェルビーイングの発展」のために～



最後に ～「ファイナンシャル・ウェルビーイングの発展」のために～

- **測定手法の確立と継続実施**：「ウェルビーイング度(WB度)」、「ファイナンシャル・ウェルビーイング度(FWB度)」の「測定手法の確立」と「継続的な測定」

(※) 主観的ウェルビーイング(生活の豊かさ)実感調査を四半期に1回、公表(日本版Well-being Initiative)
[生活の豊かさ実感、横ばい「仕事楽しい」女性の割合高く | 日経BizGate](#)

Well-beingダッシュボード(内閣府)
[満足度・生活の質に関する調査 - 内閣府 \(cao.go.jp\)](#)

地域幸福度 Well-Being 指標(デジタル庁)
[ダッシュボード | 地域幸福度\(Well-Being\)指標 \(digital.go.jp\)](#)

- **PDCAサイクルの確立**：各種施策の「WB度」「FWB度」向上への寄与度分析と、その分析結果に基づくPDCAサイクルの確立（政官も模索中か、、、）

- **「担い手」の拡大**：ファイナンシャル・ウェルビーイングに関する調査・研究や分析データ（エビデンス）の蓄積と、その「担い手」の拡大(大学での教育充実、資格制度の創設など)

END